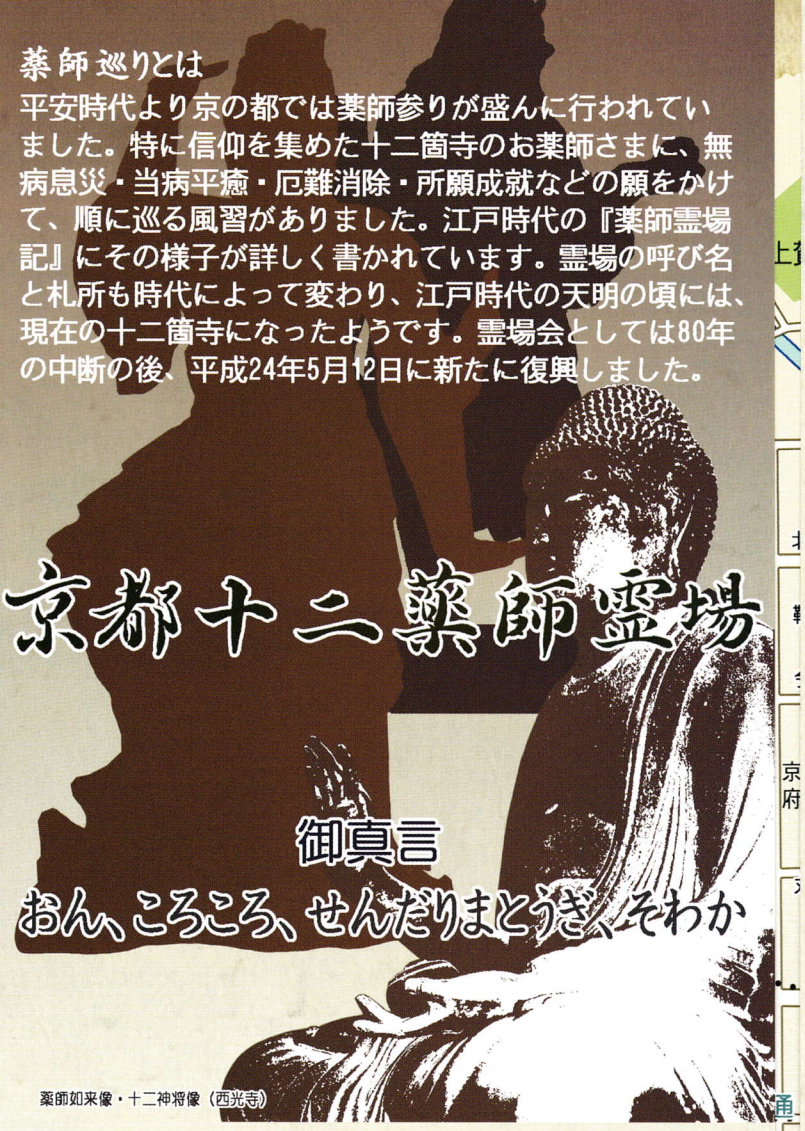
薬師巡りとは

平安時代より京の都では薬師参りが盛んに行われていました。特に信仰を集めた十二箇寺のお薬師さまに、無病息災・当病平癒・厄難消除・所願成就などの願をかけて、順に巡る風習がありました。江戸時代の『薬師霊場記』にその様子が詳しく書かれています。霊場の呼び名と札所も時代によって変わり、江戸時代の天明の頃には、現在の十二箇寺になったようです。霊場会としては80年の中断の後、平成24年5月12日に新たに復興しました。

京都十二薬師霊場

御真言

おん、ころころ、せんだりまとうぎ、そわか



薬師如来像・十二神将像（西光寺）

巡拝案内

○納経帖　1200円
○朱印料　300円
○成満之証　1000円

※成満之証発行は公式納経帖での巡礼に限る。
※成満之証発行受付寺院
　平等寺・壬生寺・地福寺・雙林寺・大超寺
　薬師院・西光寺・永福寺
※朱印受付時間
　10：00～16：00（寺院によって時間外有）

◆先達のご案内

先達とはお薬師さまのことはもちろん、各寺院の由緒を説明したり、道案内ができる指導者のことです。「成満之証」の枚数に応じて先達に補任いたします。

京都十二薬師霊場会事務所
〒600-8415　京都市下京区烏丸松原入ル
因幡堂町728　平等寺内
Tel　075(351)7724　Fax　075(351)7738
www.kyoto12yakushi.net

第①番　因幡薬師　平等寺

長徳3年（997）中納言橘行平が勅命により因幡国一宮（宇部神社）に参拝した折、夢告により賀留津の海中より薬師如来を得て仮堂に安置した。後に、帰京した行平を追って薬師如来像が飛来し、邸宅に像を安置して寺とし、薬師堂、因幡堂と称した。承安元年（1171）高倉天皇より勅額を賜り平等寺となる。清涼寺の釈迦如来、善光寺の阿弥陀如来と共に日本三如来に数えられる。

[住所]〒600－8415
京都市下京区烏丸松原入ル
因幡堂町728
[電話]075(351)7724

第②番　金剛薬師　東寺

東寺は平安遷都の際、羅城門の東に建てられた官寺である。その後、嵯峨天皇より弘法大師に下賜され、真言宗立教開宗の寺院となった。別名を教王護国寺という。弘法大師は唐から帰朝の途で、海中から出現した竜王に霊験あらたかな薬玉を与えられた。この薬玉は、後に大師が東寺を賜った折に、本尊の薬師如来の御身に納めたと伝えられる。

[住所]〒601－8473
京都市南区九条町1
[電話]075(691)3325
[拝観料]500円、又は800円

第③番　水薬師　水薬師寺

延喜2年（902）大池より薬師如来の霊像が現れたので、醍醐天皇が理源大師に命じて諸堂宇を建立し、塩通山医王院水薬師寺の勅号を賜ったのが始まりである。元弘の兵火を蒙り堂宇はことごとく焼失したが、板倉周防守足利氏の助力によって再建された。また、境内岩井の清泉は平清盛が熱病を癒したのを謝し、安芸国宮島の弁財天を勧請して祀ったものと伝える。

[住所]〒600－8075
京都市下京区西七条石井町54
[電話]075(313) 0216

第④番　歯痛止薬師　壬生寺

正暦2年（991）三井寺の快賢僧都により創建される。本尊は延命地蔵菩薩で、地蔵信仰とともに厄除け開運の寺として信仰を集めてきた。伝統芸能の壬生狂言や新選組ゆかりの寺でもある。歯薬師は古くより阿弥陀堂の脇仏として祀られている。歯薬師の由緒はその微笑みが「は、は、は」と笑っているかのように見えることに由来し、歯の病に霊験あらたかである。

[住所]〒604－8821
京都市中京区坊城通仏光寺
上ル壬生梛ノ宮町31
[電話]075(841) 3381
[拝観料]200円

第⑤番　日限薬師　地福寺

弘仁年間（810～824）嵯峨天皇の勅許により弘法大師の十大弟子の一人、真済上人が太秦安井の地に開山された。享保年間（1716～1735）道空和上が時の関白鷹司公の北政所の病気平癒に際して大いに霊験を発揮する。これにより太秦の地より現在地に移転した。以来、道空和上の念持仏であった薬師如来が本尊となり、現在に至る。

[住所]〒602－8359
京都市上京区七本松通出水下ル七番町356
[電話]075(841)7630

※平日参拝される場合は電話でご連絡ください。

第⑥番　峰薬師　福勝寺

当山の薬師如来は愛知県の鳳来寺の薬師如来と同木同作で、利修仙人（鳳来寺開山）の作と伝わる。東大寺大仏の再建に際して重源僧正に授与され、諸国を遍歴し、当山に持仏として奉安された。その後、後陽成天皇が勅願され御平癒された折に、天皇より「薬師如来」の名号と菊の御紋が寄付され勅願寺となる。

[住所]〒602－8359
京都市上京区出水通千本西入ル七番町323－1
[電話]075(841) 5818

第⑦番　東山薬師　雙林寺

延暦24年（805）、桓武天皇の勅命により左大使尾張連定鑑が伽藍を建立し、霊鷲山沙羅双樹林寺法華三昧無量壽院と号した。開山は伝教大師最澄。鳥羽天皇皇女綾雲女王、土御門天皇皇子静仁法親王が住職を務めるなど皇室との関わりも深い。また平康頼、西行法師、頓阿法師などの文人が止住した。17の支院を有する巨刹であったが、今は僅かに本堂と飛地境内にある西行堂を残すだけである。

[住所]〒605－0072
京都市東山区下河原鷲尾町527
[電話]075(561) 5553

第⑧番　鍬形薬師　大超寺

当山の薬師如来は開山勝誉泰童上人の感得の念持仏で、上人の母が病に罹り重態となられた時に上人が如来を念じて病気平癒を祈念すると忽然と病は癒えたという。これにより堂宇を建て薬師如来を本尊として奉安した。現在の本尊は阿弥陀如来。かつては上京区の西陣にあったが、近年岩倉に移築された。

[住所]〒606－0024
京都市左京区岩倉花園町640－2
[電話]075(711) 3166

※平日参拝される場合は電話でご連絡ください。

第⑨番　不来乎薬師　薬師院

本尊の薬師如来像は延暦元年（782）、伝教大師が16歳の時に一刀三礼で彫刻された薬師仏七体のうちの一体である。寛喜2年（1230）、疫病が全国に広がった時に、住職の夢に薬師如来が現れ、「一切病苦の衆生、我が前に来たらば諸病ことごとく除くべきに、来ぬか、来ぬか」との夢告があり、これにより皆の病が平癒したので、以来、「こぬか薬師」と呼ばれた。

[住所]〒604－0014
京都市中京区釜座通二条上ル大黒町694
[電話]075(211)1890

第⑩番　菩提薬師　大福寺

推古天皇の御代（598）大和国宮田郷に建立され、瑠璃光山利生院大福寺と号する。桓武天皇の御代（794頃）勅旨により平安京に移される。本尊薬師如来は聖徳太子の御自刻。皇室の信仰が篤かったが、天明年間に炎上し、寺域の多くを失った。昔から出納帳に宝印を受けると商売繁盛になるとされ、正月に朱印を受けに参拝される方が多い。「大福帳」の名の由来である。

[住所]〒604－0963
京都市中京区麩屋町通二条上ル布袋屋町498
[電話]075(231) 3624

第⑪番　寅薬師　西光寺

帝の勅命を受け弘法大師が一刀三礼謹刻され、寅の日、寅の刻に成就されたため寅薬師と呼ばれる。宮中に奉安され歴代天皇の信仰を受けたが、弘安年間（1278～1287）に後宇多天皇よりこの尊像を下賜された傳慶法印が民衆の幸福を祈る場として御倉堂を建立したのが当寺の創建とされる。以来、広く民衆の開運厄除、無病息災、及び寅年の守護仏として親しまれている。

[住所]〒604－8047
京都市中京区新京極蛸薬師上ル中筋町495－1
[電話]075(211) 1938

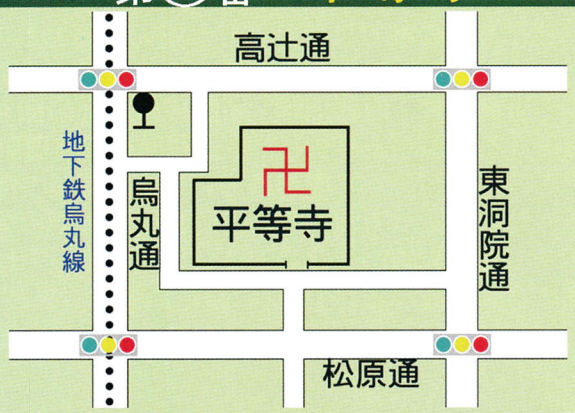
第⑫番　蛸薬師　永福寺

養和元年（1181）林秀僧正が夢告により伝教大師僅刻の石の薬師如来を比叡山より勧請し、二条室町に堂宇を建立して永福寺と名付けたのが始まり。建長（1249～1256）の初め、病の母ために蛸を買いに出かけた僧・善光が町人にこれを見咎められ、一心に薬師如来に願うと蛸が法華経の経巻に変わり、母の病は無事完治したと伝えられる。以来、蛸薬師と呼ばれるようになる。

[住所]〒604－8046
京都市中京区新京極蛸薬師東側町503
[電話]075(255) 3305

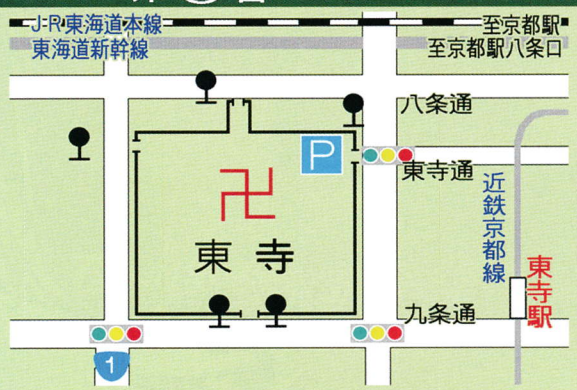
一日で巡れる 京都十二薬師霊場 案内略図

第①番　平等寺



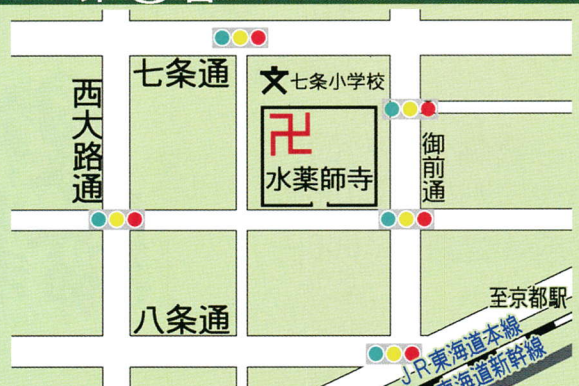
◆市バス／烏丸四条より徒歩７分・烏丸松原より徒歩１分
◆地下鉄／烏丸四条駅・五条駅より徒歩５分

第②番　東寺



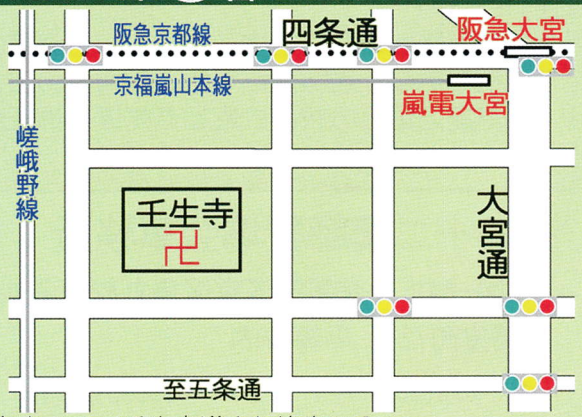
◆市バス／東寺東門前・東寺西門前すぐ
◆ＪＲ／京都駅より徒歩１５分
◆近鉄／東寺駅より徒歩５分

第③番　水薬師寺



◆市バス／七条御前より徒歩８分
◆ＪＲ／西大路より徒歩１２分

第④番　壬生寺

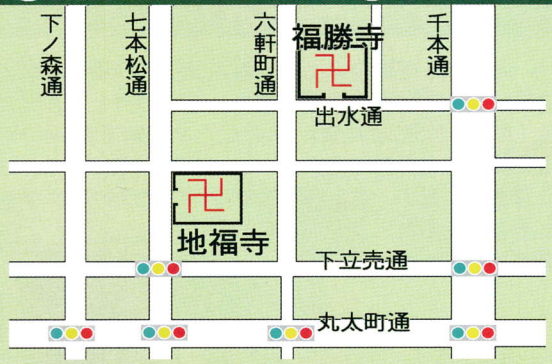


◆市バス／壬生寺道より徒歩５分
◆阪急／大宮駅より徒歩１０分

至嵐山

京都市

第⑤番　地福寺　第⑥番　福勝寺



⑤地福寺◆市バス／丸太町七本松より徒歩５分
　　◆地下鉄／二条駅より徒歩１５分
⑥福勝寺◆市バス／千本出水より徒歩１分
　　◆ＪＲ／二条駅より徒歩１５分

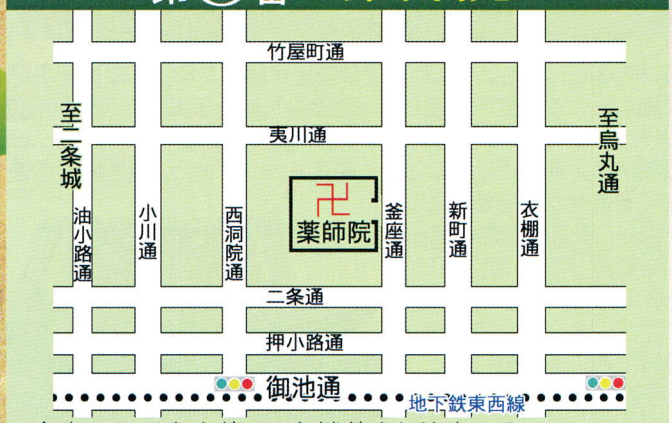
第⑦番　雙林寺

◆市バス／祇園または、東山安井より徒歩７分

第⑧番　大超寺

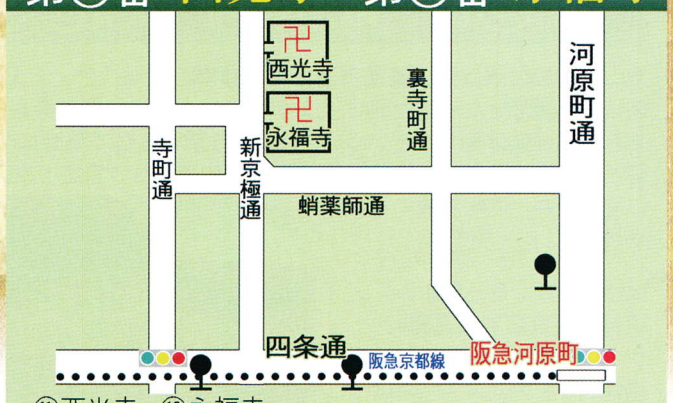
◆京都バス／花園町より徒歩８分
◆叡電／八幡駅より徒歩２０分

第⑨番　薬師院



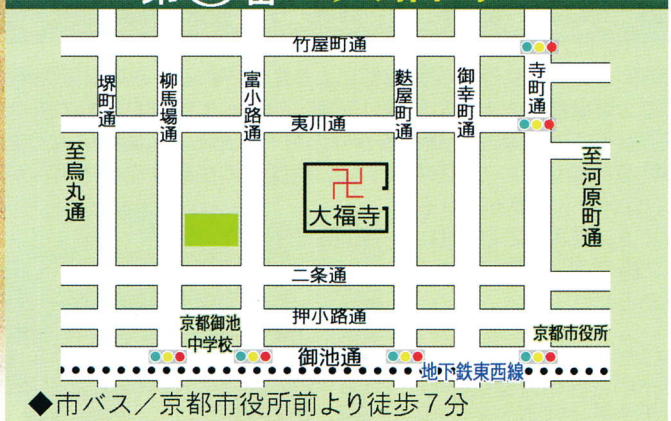
◆市バス／府庁前・二条城前より徒歩５分
◆地下鉄／烏丸御池駅より徒歩８分・丸太町駅より徒歩５分

第⑪番　西光寺　第⑫番　永福寺



⑪西光寺・⑫永福寺
◆市バス／四条河原町より徒歩５分
◆阪急／河原町駅より徒歩７分

第⑩番　大福寺



◆市バス／京都市役所前より徒歩７分
◆京都バス／河原町二条より徒歩７分
◆地下鉄／京都市役所前駅より徒歩１０分